



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月8日
東

上場会社名 シノブフーズ株式会社 上場取引所
 コード番号 2903 URL <https://www.shinobufoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 長尾 正史 (TEL) 06(6477)0113
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	52,488	7.0	1,258	16.0	1,263	15.2	1,093	45.8
2019年3月期	49,068	3.7	1,084	5.1	1,096	6.0	750	8.2
(注) 包括利益	2020年3月期		1,040百万円(37.6%)		2019年3月期		756百万円(3.9%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	88.19	86.52	8.9	4.4	2.4
2019年3月期	59.53	58.81	6.5	4.5	2.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	29,978	12,796	42.2	1,019.29
2019年3月期	27,850	11,952	42.4	952.05

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,644百万円 2019年3月期 11,808百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,666	△3,913	795	3,032
2019年3月期	2,143	△4,348	5,296	4,484

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	7.50	—	8.50	16.00	199	26.9	1.7
2020年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00	210	19.3	1.7
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスによる影響を現時点において適正かつ合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。

なお、詳細については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	13,500,000株	2019年3月期	13,900,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,094,801株	2019年3月期	1,496,270株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	12,404,618株	2019年3月期	12,601,340株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続きましたが、通商問題を巡る緊張の増大、消費増税の影響に加え、今年度終盤に発生しました新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大により、内外経済のさらなる下振れリスクが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。また、中食業界で事業を展開する当社グループの経営環境は、天候不順などに起因する原材料価格の高止まりや労働コストの上昇などにより厳しい状況が続いており、加えて新型コロナウイルス感染症拡大による影響により、見通しが極めて困難な状況にあります。

こうした状況下、当社グループは中期経営計画（2016年3月期～2020年3月期）における4つの基本戦略、「継続的な売上成長」、「コスト競争力の強化」、「人材の育成」、「環境への取り組み」に基づき目標達成に向け取り組みました。

販売面では、ラップおにぎりのおおきなおむすびシリーズがご好評をいただくなど、売上高は堅調に推移いたしました。また、より多くのお客様に商品のコンセプトを知っていただくため、昨年を引き続き「フードストアソリューションズフェア2019」へ出展し、新規カテゴリーの商談や新規取引先の開拓など、継続して販売力の強化に取り組みました。また、商品開発においては、内製化にこだわり、食材の調理方法の研究などおかず一品一品を美味しくするための取り組みを行いました。

生産面では、新関西工場（大阪市西淀川区）が7月から順調に稼働を開始し、HACCPによる高い衛生管理体制の整備や、生産性向上のための最新機器の導入により、引き続き安全・安心な商品を提供してまいります。また、広島工場及び名古屋工場を増築し、生産能力の増強に取り組みました。

コスト面では、精米等の価格が高止まりで推移しておりますが、購買部による肉類や野菜等の調達方法の見直し等でコストの低減を図り、また、人員不足に起因する労務コストの増加については、積極的な設備投資による省人化に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は前期比34億1千9百万円増の524億8千8百万円、経常利益は前期比1億6千6百万円増の12億6千3百万円、特別利益に旧関西工場の土地、建物の固定資産売却益2億2千2百万円を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比3億4千3百万円増の10億9千3百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態につきましては、総資産は、有形固定資産の増加を主因に前連結会計年度末と比較して21億2千8百万円増加し、299億7千8百万円となりました。負債は、長期借入金の増加を主因に前連結会計年度末と比較して12億8千4百万円増加し、171億8千2百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益10億9千3百万円を計上する一方、配当金の支払2億4百万円等により前連結会計年度末と比較して8億4千3百万円増加し、127億9千6百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは16億6千6百万円の収入(前年同期比4億7千7百万円収入減)となりました。これは、主として税金等調整前当期純利益14億7千1百万円、減価償却費14億1千8百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、39億1千3百万円の支出(前年同期比4億3千5百万円支出減)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出44億1千8百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億9千5百万円の収入(前年同期比45億円収入減)となりました。これは、主として借入れによる収入27億円、借入金の返済による支出16億7千4百万円、配当金の支払額2億4百万円によるものであります。

この結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、30億3千2百万円(前年同期比14億5千1百万円減)となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2020年4月からスタートする中期経営計画（2021年3月期～2025年3月期）を策定いたしました。「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画とし、安全・安心で美味しい商品をより多くのお客様に安定的に提供する体制を強化することで、一層厳しさを増す消費環境の中で、安定的な収益を生み出せる経営体質を構築してまいります。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症が世界規模で蔓延しており、国内外の経済動向は厳しい状況が続くと見込まれます。中食業界におきましても、緊急事態宣言に伴う外出自粛要請、各業種への休業要請や時短営業等が売上高に与える影響は大きく、見通しが極めて困難な状況にあります。

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期によって、業績に与える影響が大きく変動するため、現段階において適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であると判断し、未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、国内での I F R S の採用動向を検討した結果、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,484	3,032
売掛金	5,003	5,167
商品及び製品	24	27
原材料及び貯蔵品	234	230
その他	178	741
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,923	9,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,030	8,931
機械装置及び運搬具（純額）	2,690	3,536
工具、器具及び備品（純額）	274	393
土地	7,348	7,050
リース資産	—	41
建設仮勘定	3,822	85
有形固定資産合計	17,167	20,038
無形固定資産	70	85
投資その他の資産		
投資有価証券	143	109
繰延税金資産	211	220
その他	345	334
貸倒引当金	△12	△8
投資その他の資産合計	688	655
固定資産合計	17,926	20,780
資産合計	27,850	29,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,625	3,718
1年内返済予定の長期借入金	1,468	1,698
未払金	2,041	2,264
未払法人税等	285	232
賞与引当金	294	286
その他	639	642
流動負債合計	8,353	8,844
固定負債		
長期借入金	7,235	8,029
退職給付に係る負債	171	192
その他	137	115
固定負債合計	7,543	8,337
負債合計	15,897	17,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	3,254	3,015
利益剰余金	4,701	5,590
自己株式	△893	△653
株主資本合計	11,755	12,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	32
退職給付に係る調整累計額	△3	△33
その他の包括利益累計額合計	53	△1
新株予約権	115	146
非支配株主持分	28	4
純資産合計	11,952	12,796
負債純資産合計	27,850	29,978

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	49,068	52,488
売上原価	39,033	41,851
売上総利益	10,034	10,636
販売費及び一般管理費	8,949	9,377
営業利益	1,084	1,258
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	22
受取賃貸料	6	6
受取保険金	9	8
受取手数料	6	5
その他	11	10
営業外収益合計	45	54
営業外費用		
支払利息	28	47
その他	5	2
営業外費用合計	33	49
経常利益	1,096	1,263
特別利益		
固定資産売却益	—	222
新株予約権戻入益	—	0
違約金収入	—	32
補助金収入	25	—
特別利益合計	25	255
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	18	41
特別損失合計	18	47
税金等調整前当期純利益	1,103	1,471
法人税、住民税及び事業税	371	362
法人税等調整額	△21	14
法人税等合計	350	376
当期純利益	752	1,095
非支配株主に帰属する当期純利益	2	1
親会社株主に帰属する当期純利益	750	1,093

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	752	1,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△24
退職給付に係る調整額	△5	△29
その他の包括利益合計	3	△54
包括利益	756	1,040
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	753	1,039
非支配株主に係る包括利益	2	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,693	3,253	4,140	△694	11,393
当期変動額					
剰余金の配当			△189		△189
親会社株主に帰属する 当期純利益			750		750
自己株式の取得				△213	△213
自己株式の処分		0		13	14
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	560	△199	362
当期末残高	4,693	3,254	4,701	△893	11,755

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	48	1	49	55	29	11,528
当期変動額						
剰余金の配当						△189
親会社株主に帰属する 当期純利益						750
自己株式の取得						△213
自己株式の処分						14
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	8	△5	3	59	△1	61
当期変動額合計	8	△5	3	59	△1	424
当期末残高	56	△3	53	115	28	11,952

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,693	3,254	4,701	△893	11,755
当期変動額					
剰余金の配当			△204		△204
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,093		1,093
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
自己株式の消却		△238		238	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△238	889	239	890
当期末残高	4,693	3,015	5,590	△653	12,645

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	56	△3	53	115	28	11,952
当期変動額						
剰余金の配当						△204
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,093
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						0
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△24	△29	△54	31	△23	△46
当期変動額合計	△24	△29	△54	31	△23	843
当期末残高	32	△33	△1	146	4	12,796

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,103	1,471
減価償却費	1,109	1,418
株式報酬費用	74	32
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30	△7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△26	△22
受取利息及び受取配当金	△12	△22
支払利息	28	47
支払手数料	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	—	△216
固定資産除却損	18	41
新株予約権戻入益	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△97	△163
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6	0
仕入債務の増減額 (△は減少)	72	93
未払消費税等の増減額 (△は減少)	49	△178
その他の資産の増減額 (△は増加)	△38	△579
その他の負債の増減額 (△は減少)	187	194
小計	2,493	2,105
利息及び配当金の受取額	12	22
利息の支払額	△28	△47
法人税等の支払額	△343	△418
法人税等の還付額	9	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,143	1,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,326	△4,418
有形固定資産の売却による収入	—	545
無形固定資産の取得による支出	△16	△34
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他の支出	△5	△5
その他の収入	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,348	△3,913
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	6,600	2,700
長期借入金の返済による支出	△896	△1,674
自己株式の取得による支出	△213	△0
配当金の支払額	△189	△204
非支配株主への配当金の支払額	△3	△24
支払手数料の支払額	△0	△0
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,296	795
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,091	△1,451
現金及び現金同等物の期首残高	1,392	4,484
現金及び現金同等物の期末残高	4,484	3,032

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	952.05円	1,019.29円
1株当たり当期純利益金額	59.53円	88.19円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	58.81円	86.52円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	750	1,093
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	750	1,093
普通株式の期中平均株式数(株)	12,601,340	12,404,618
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	153,552	239,414
(うち新株予約権(株))	(153,552)	(239,414)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。